

▼配水管敷設工事



水道施設整備の状況

平成20年度に次の工事を行いました。

区 分	工 事 内 容	事 業 費
送配水管新設工事	幹線となる配水管などを布設し、水道水の安定供給を図るための工事を行いました。	5,874万円
送配水管改良工事	赤水発生の解消や地震などの災害に強い水道施設の整備を図るため、老朽化した配水管の改良（更新）工事を行いました。	5,359万円
送配水管移設工事	公道の拡幅工事に伴い、配水管の移設工事を行いました。	1,287万円
水道メーター取替工事	計量法で定められている水道メーターの取り替え（8年ごと）工事を行いました。	2,665万円
その他設備工事	各施設のセキュリティ強化や幌別浄水場に監視装置の設置を行いました。	4,305万円

財政の状況

バランスシート（貸借対照表）は、企業の財政状態を明らかにするため、保有するすべての資産や負債、資本を表したもので、株主などに会社の経営内容を知ってもらうため作成する報告書です。

次の表は、平成20年度末現在での水道事業の財政状態を表したものです。

【バランスシート（貸借対照表）】



区 分	金 額	区 分	金 額
固 定 資 産	82億6,805万円	流 動 負 債	1億2,992万円
有形固定資産 (建物・配水管・水道メーターなど)	82億6,805万円	未払金（未払いの債務）	7,704万円
流 動 資 産	4億4,610万円	前受金（概算払いの水道料金）	14万円
預金現金（手持資金）	3億3,644万円	その他 (下水道料金預り金など)	5,274万円
未収金（未納水道料金）	1億800万円	資 本 金	67億5,733万円
貯蔵品（たな卸資産）	163万円	自己資本金 (建設改良積立金の取り崩し額など)	14億6,079万円
その他流動資産	3万円	借入资本金（企業債）	52億9,654万円
資 産 合 計	87億1,415万円	剰 余 金	18億2,690万円
		資本剰余金（工事負担金など）	15億5,734万円
		利益剰余金（減債積立金など）	2億6,956万円
		負 債 ・ 資 本 合 計	87億1,415万円

水道事業の決算状況に関するお問い合わせは

水道グループ

☎855501

FAX855805

Eメール: gyomu@city.noboribetsu.lg.jp

借入金の状況

安定した水の供給を維持するためには、常に浄水場や配水管などの水道施設を整備し、また、これから施設更新時期を迎える水道施設を計画的に整備していく必要があります。

この整備には、莫大な資金が必要になり、手持ちの資金では賅うことができません。

そこで、国などから資金を借り入れし、水道料金の中から返済しています。水道事業では、この借入金を『企業債』と呼んでいます。

また、この借入金は、現在、水道を利用している市民だけではなく、将来、利用する市民にも公平に負担してもらうという目的も含め、長期の計画で返済しています。

平成20年度末現在で借り入れ元金の残高は、バランスシート（貸借対照表）のとおり52億9,654万円となっています。これを給水人口1人当たり換算すると10万2,461円になります。